

講演会の報告「神城断層の調査結果を再検証する」

去る5月18日、「神城断層の調査結果を再検証する」と題して国土問題研究会理事長 京都大学名誉教授(災害地形学)奥西一夫先生の講演会を開催しました。貴重な講演内容を多くの皆さんに知っていただくため、その要旨(一部質問の回答内容を含みます)をご紹介します。

1. 広域連合の計画に多くの問題点

- (1) ゴミの集中処理にからむ問題点を無視している
- (2) 住民の意見に基づいて検討するという観点がない
- (3) ゴミ処理の技術的な問題についてはメーカーまかせ?
- (4) 住民も参加し行政も参加して決めていくのが良い

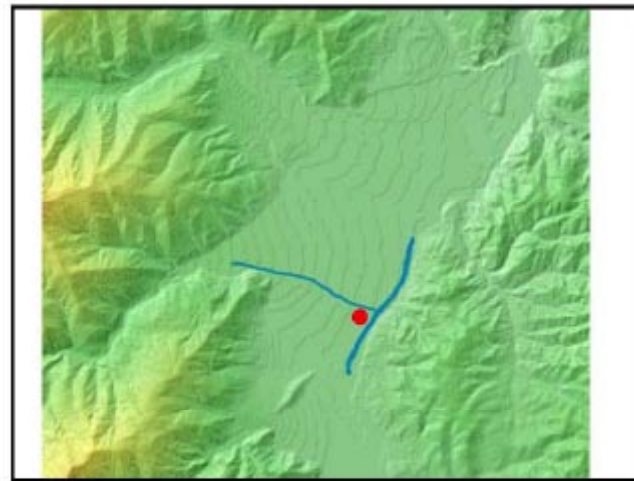
講演会の記録ビデオを撮りましたので、視聴することができます。ご希望の方は、お問合せ下さい。

2. 用地選定で一番肝心な地形条件が忘却されている

——地形を考慮した排ガスの検討をしていないのは不適切

- (1) 東西の山脈で挟まれた地形で、どういう風が吹くか、排ガスが東山を越えられるか
- (2) 西山からの風が渦巻いたり逆転層ができたりして、盆地の中に排ガスが漂う
- (3) 大量のガスを排出する施設を設置するには、最も不適切な地域。
- (4) 用地選定のイロハを理解していない

地図ソフトカシミール 3D により作成



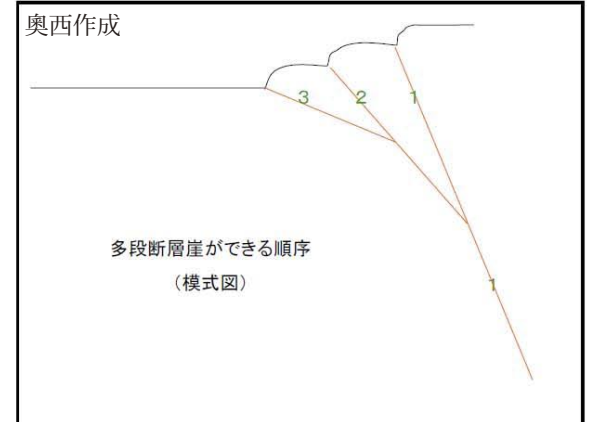
姫川と平川が作る扇状地：地震時の液状化と沈下の検討が不可欠。

3. 地震時の液状化の懸念

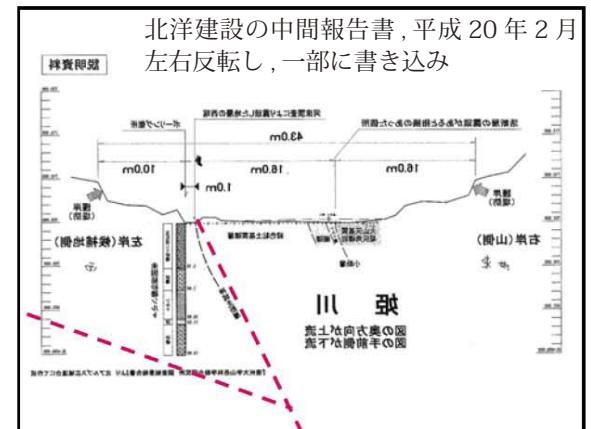
- (1) 候補地は、平河と姫川が作る扇状地。地震時の液状化と沈下の検討が不可欠
- (2) 平川からの土砂で姫川が堰き止められる形になり、上流が湖になって土砂が堆積した土地
- (3) 自噴井戸があり農業用水に使われているとのこと。液状化が起こりやすい状況
- (4) 湖成の泥質堆積物は支持力が弱く、ゴミ処理施設の建設地として問題がある
- (5) 地震の揺れは地盤の強固さによるが、候補地は強固な地盤とはいえない
- (6) 平川から大量の土砂が流れ込めば水害の危険性もある

4. 候補地の地下に、神城主断層から枝分かれした断層が通っている可能性

- (1) 白馬の北部及び南部の調査で、神城主断層から枝分かれした断層(多段断層)の存在が確認されている
- (2) 広域連合の調査は不十分
 - 1、ボーリングが浅すぎる
 - 2、主断層を横切るボーリングをしていない
 - 3、1本のボーリングだけでは結論を出せない
 - 4、弾性波調査(地表から地下の状況を探る調査)などをしていない
- (3) 従って、候補地の地下に枝分かれした断層が存在する可能性を否定できない



多段断層崖ができるメカニズム



計画地付近で確認したという断層の傾斜角とあり得る前面断層崖。(説明の都合上左右を反転)

5. 一番大切なことは、君子危うきに近寄らず

- (1) 候補地は活断層の上、または活断層に近い場所。特別な注意が必要
- (2) 耐震設計するといっても、どれだけ安全かは不確実
- (3) 従って、上述のような安全上懸念要素のある場所は避けるべき
- (4) 危機管理の危険分散という観点からも、小さい施設を分散して設置するべき

田植えやその他のイベント等、お忙しい時期と重なりましたが、約150名の出席がありました。ご案内した白馬・大町市の議員6名、白馬と広域連合の職員3名、マスコミ2社もお越し頂きありがとうございます!さらに、皆様からの温かいカンパありがとうございました!

カンパ合計
86,921円 (車用ステッカー含む)

～講演会を聴いて～

奥西先生のご講演は、先生のご専門の災害という視点からのお話でしたが、その内容は「ごみ連協」が下記のように問題点として指摘してきたことの妥当性を裏付けるものであり、大変心強く思います。(詳細は、昨年7月1日付「新ごみ処理施設建設計画の白紙撤回を求める理由」及び11月発行の「白紙撤回を求める4つの理由/私たちの提案」をご参照ください)

- 1) 活断層から近く地盤も軟弱で安全性が問題
- 2) 排ガスの影響について検討していない
- 3) ごみ処理施設を大町と白馬・小谷とに分け、ごみを減量して処理施設を考えるべき
- 4) 用地選定手続きと選定方法が不適切

特に、危機管理の観点からごみ処理施設を分散すべしとのご意見は、中越沖地震において焼却施設が被害を受け、ごみ処理が大問題になったことを思い起こせば、行政にとっても非常に重要な配慮すべき事項だと思いました。

広域連合も、集中した処理施設を飯森地区に建設する計画に固執することなく、科学的な見解に耳を傾けていただくことを強く望みます。



行政の公式な「組織」として、解決に向けて話し合える場を設けてもらえれば一番良いのですが・・・。

(年金や後期高齢者医療制度・・・などもそうですが、動き出したことをいったん止めて、最善のものを作り直すことは、住民の目線に立つ姿勢さえあれば、さして難しいことではないはずです。)

勉強会のご案内

ごみ問題の今!!

長野県出前講座 ～今話題の住民投票とは？

住民の
気持ちを
どうやって計る？

要約筆記
あります

講師：長野県総務部市町村チーム

日時：5/28 (水) 19:00～21:00

場所：白馬村ふれあいセンター 2F

参加費：無料 (カンパ歓迎します!)

主催：ごみ連協

ごみ連協では
ごみ処理場の問題を解決していく方法として
「住民」「議員」「行政(広域連合・各市村)」などが
率直に意見を出し合い話し合っていくことが
最善の方法だと考えています。

23日には、広域連合に「正副連合長との意見交換会
を6月上旬までに開催して欲しい」との要請も
に、前号・23号で紹介した提言の検討結果を含む
6項目の質問を提出しています。

今後とも、色々な「話せる場・考える場」を作って
いきますので
宜しくお願い致します!



白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会ニュース

発行：白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会 (会長：宮田温巳)

白馬村北城八方口5897-1 (たきみや) <事務局> TEL: 0261-72-2527 FAX: 0261-72-4344

皆様の一層のご支援をお願いいたします!

カンパ振込先 ●八十二銀行白馬支店/普通口座:137464

名義:ハクバゴミモンダイカンパ ●ゆうちょ銀行/口座記号番号

00520-2-83674/名義:白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会